

参加者、  
青木、浅田、北島、河原、神前、田中、中野、  
中島、鳥飼、柴崎、三浦、芳野、山岡、  
ゲスト、  
木村、岸、松崎（三浦さん同僚）、  
伊東（近々入会予定の方）、

BMW RS Club

# かわらばん

Sep 1, '96

相模湖、道志村そして  
仙石原の「俵石閣」へ

釜の底で煎りつけられるような日々が続いていましたが、八月の末になって急に秋めいた日が入ってホット一息。緑の中からは秋の使者の法師蝉（アリ）の声も聞こえ始めました。

春から初夏にかけては黄色の花（菜の花、黄梅、ニッコウキスゲ等）が目につきますが、近頃はリンドウやトリカブトそしてホトトギス等の紫の花が目立ち始めました。本格的な秋が、もうすぐそこまで来て出番を待っています。

七月の甲府盆地の暑さの中で、煮えたぎるホウトウ鍋を囲んで以来、久々のツーリングとなりました。前夜から雨となってダメかと思われましたが、段々に東の空が明るくなり、晴天を確信して、定刻8時に中央高速「石川PA」に入ると、既に大変な数のBMWが集まっていました。というのはフラットの連中もツーリングに出掛けるところで、大賑わいとなった訳なのです。並木さんと石川さんが彼等に同行し、我がRSクラブのメンバーから白い目で見られました。

そんなこんなで少々遅れて出発。八王子の料金所で浅田、中野の両名が加わり、相模湖ICへ向かいました。天気晴朗で風も無く、暑からず寒からずのバイクにはご機嫌な日和です。ここで鳥飼さんが加わり、合計16台の陣容となりました。

インターを出て暫く走り、相模湖を渡って道志村へと向かいました。このコースは我がRSクラブにとって、些かクラシック・コースに入りますが、初夏の鮎釣りの頃、そして今回のように秋に向かってのシーズンには、田の稲が実ってこうべを垂れ、畦道には秋桜（コスモス）が可憐な花を付けて、いかにも秋が匂ってくる思いがします。

芙蓉（よう）の花が咲くと秋の気配がただようと言われますが、その芙蓉が農家の庭に咲き、同志川の流れと藁葺き（からなき）屋根、そしてピンクの百日紅（さるすべり）とのコントラストが、向井潤吉の風景画を見るような思いです。

途中のヨロズヤ風の店の前で休んで居ると、聞き慣れた音がしてきて、なんと遅れた青木さんが追いついてきました。あー良かった。これで17台となりました。

山道に入ると所処で道路が濡れて、時折バラついたものの、そこを抜けると再び日が差して、周囲の深い杉木立が迫ってくる感じです。山中湖に着くと、未だ夏の名残りを惜しむかのように、学生や観光客でかなり賑わっています。湖岸の畠では秋蕎麦が白い花を付けていました。

本来ですと此処から三国峠を越え、富士スピードウェイ方面に抜けるのが、いつもの我々のコースですが、途中まで上ると通行止めのサイン。展望台で周りに居る人に頼んで、ワイワイガヤガヤと3台のカメラで次々に記念撮影。まるでタレントのようです。

仕方が無く竜坂峠を回って、御殿場へ向かいました。私が最後尾で須走の交差点を左折しようとすると、自転車で道路を渡って来たベッピンさんと目が合い、お互いに譲り合ってニッコリ。するとその人がそばに来て“とても楽しそうですね”と声をかけられました。知らない場所で知らない人との、こういう思いがけない触れ合いも、なんとも嬉しいものです。

ヘルメットをかぶっていたので、きっと20代のお兄さんかと思ったのかな？ ン～顔だな？

鳥飼さんが御殿場で帰り、我々は乙女峠から仙石原へ入って、今日の昼飯を食べに「俵石閣」という瀟洒（しょうしゃ）な数寄屋造りの日本家屋へ入りました。周囲は鬱蒼（うっそう）とした木々に囲まれ、何か時間を越えた場所に迷いこんだ感じです。広い部屋の庭には小さな池があり、そこに可愛いい舟がもやってありました。年をとった仲居さんが来て「そこの場所で小谷美可子さんが、カルピスの宣伝フィルムをお撮りになったのですよ」と話してくれました。

俵石料理を食べながら、1ダースばかりのビール（中びん）しか飲まないのに、なんとなく良い気持ちになったのも、深山幽玄の雰囲気に酔ったからでしょうか。

前の晩に遅くまで働いていたという青木さんが、気持ち良さそうに寝息を立てて寝ています。

ゆっくりと休んでから出発。そこへ田中さんと山岡さんを知っている、この宿の女の人が出て来て、あらあら彼等はもう大モテです。その彼女を中心にして天皇陛下が写したという、同じ場所で“ハイ、ポーズ”。混み合う1号線を下り始めると、段々に気温も上がり出して、朝の内は涼しいと思っていたのに、再び残暑が戻ってきた感じとなりました。

湯本駅前で顔を揃え、小田原厚木道路で海老名SAに入りましたが、なんとフラットのグループと又々一緒にになりました。滑って転んだ人が居たそうですが、だれ～だ？

4人のゲスト参加の皆様、お楽しみ頂けましたか。機会がございましたら是非またご参加下さい。

なお今回のコースを担当して下さった山岡さん。有り難うございました。お陰様で珍しい所を見せて頂けました。その上に私のバイクの慣らしにお付き合い下さり、重ねて御礼申し上げます。

次回はいよいよ一泊旅行です。10月12～13日。万難を排してご出席下さい。  
福島の相馬と宮城の県境に近い、「松川浦」という所に行きます。この日曜日に試走します。